

親子クイズ 527

Q 暖くなると動きが活発になる、小さな虫たちからの問題。

①嫌われ者代表の「蚊」ですが、血を吸うための針(口吻)は実は1本ではありません。では何本?

ア: 2本 イ: 4本 ウ: 6本

②「蚊」の幼虫は「ボウフラ」といい、水の中で生活しています。どのように呼吸しているのでしょうか?

ア: 魚と同じようにエラで呼吸している
イ: 時々水面に出てお尻から呼吸し、体の気管に貯めている
ウ: 気泡(空気の小さな泡)を捕まえてくる

③「紙魚」と書く虫。なんと読む?

《ヒント1》カタカナ2文字

《ヒント2》銀色または褐色で、体長は約1cm。古い本の中で見かけます。

【第526回解答】

【第526回当選者】

Face with

1	2	3	4	5
t	e	a	r	s

 of

6	7	8
J	o	y

北村 祥多 (小 籠)
黒木 秀子 (後免町)
別役 真理 (廿 枝)
村田 かおり (小 籠)
依光 美加 (廿 枝)

★応募総数/60通

★正解率/92%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

■応募締切/4月12日(火)必着

■あて先/〒783-8501

南国市大塚甲2301

南国市企画課「親子クイズ」係

*はがきで応募

■賞品/正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

61 人権学習シリーズ

な気がします。

このように、自分自身や誰かのために一生懸命関わったことに、感謝やねぎらいの言葉などを掛けてもらえると、苦勞が報われたような気持ちになり、安堵感に包まれます。そして、これからの活力源にもなるので、言葉には不思議な力があると思います。

多くの人が、今日と同じ日が繰り返されると思い過ぎていたりと思います。誰かと会って話し、笑い、楽しい時を過ごす、こんな何気ない「当たり前」の出来事が、本当は奇跡の連続なのです。しかし、忙しく生活していると、そんなことにはなかなか気づきません。これからは「ありがとう」の思いを持って、毎日を大切に過ごしていきたいと思っています。

※このシリーズは、あなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

■問い合わせ

人権啓発広報委員会

880・6569

にこにこライフ

189



頼まれたら
よう断らん

門田 竊一さん
(大塚甲)



若い頃の話から最近の話まで、楽しいエピソードをたくさん聞かせていただきましてもう少しでアケボノツツジが見られる季節になりますが、今年も見に行かれるのでしょうか?

海や山へ行くことが好きで、瓶ヶ森によく行きます。春はアケボノツツジを見に行き、秋は紅葉狩りに行きます。剣山にも登りに行きますが、そこで見た霧水と紅葉のコントラストは最高に綺麗でしたよ!

若い頃にアルコール、特にビールで酷い目に遭いました。元々アルコールが飲めない体質で、友人たちにビールを飲まされてはよく病院に運ばれていました。でも少しずつ慣らしてきたお陰(?)で、今は何でも飲めるようになりました。

自分の中でこだわっていることは、中ノ川の谷の水を約45年間、ずっと飲み続けていることです。水道水はトイレや風呂、洗濯などに使っていて、体に入れる水は、料理や飲み水も全てこの水を使っています。

人から頼まれたらなかなか断れない性格で、そのせいと言っているのか、いろいろな役員をやっています。少し前までは20個以上は掛け持ちしていましたが、今はなんとか少しずつ断つて10個ぐらいにはなりました。妻からはよく「お父さんはボランティアが趣味やねえ」と言われています(笑)。

なんこく歴史散歩 第40回

住吉野の船岡山東側に、武市花之丞の墓があります。正面には、文字も鮮やかに「武市花之丞墓」と刻まれており、右側には文政6(1823)年9月6日、同じく左側には享年59の文字が読み取れます。その墓と並んで、左側には文化14(1817)年に49才で没した妻の墓が目に入ります。



花之丞と妻の墓

花之丞の墓 —住吉野の花咲か爺さん—

ある年、例年になく立派に桜の花が咲き乱れ、花之丞は非常に喜んでいました。そんな花霞に煙るある日の朝、花之丞は愛する花に抱かれて病に倒れていました。妻に先立たれた花之丞は、ひたむきに花を愛して生涯を閉じたのです。このように生命を懸けて育てた住吉神社の桜の木も今では枯れ果てて面影を見ることはできませんが、花之丞は、今年も熊野神社や岡豊山など、各地で花見に集う人々を温かく見守っていることでしょう。



■問い合わせ

生涯学習課文化財係

880・6569